

事務の管理及び執行状況 の点検・評価実施報告書

(令和6年度実績)



由利本荘市教育委員会キャラクター
「学ぶん」

令和7年12月

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	9

【学校教育部門】

(1)	確かな学力の形成	9
-----	----------	---

【社会教育部門】

(1)	社会的課題に対応した教育・学習活動の推進	15
(2)	読書の大切さの啓発と読書活動の推進	17
(3)	生涯学習・社会教育施設の整備と管理運営	20

【教育環境整備部門】

(1)	学校環境適正化の推進	21
(2)	学校施設の整備	26

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、『由利本荘市の教育』に掲げる施策を6項目9事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の三浦秀人氏、由利本荘市PTA連合会会長の高橋修氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期日	付 議 案 件
R6. 4. 30 (協議会)	協 議 1. 本荘地域における学校再編について (統合小学校校歌・校章)
R6. 4. 30 (定例会)	議案第13号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第14号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第15号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第16号 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について 議案第17号 由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について 議案第18号 由利本荘市図書館協議会委員の任命について 議案第19号 由利本荘市指定文化財の指定について 報 告 ①矢島小学校竣工修祓式実施報告 ②矢島小学校「新校舎見学会」実施報告 ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④市内小・中学校 長期休業日、学校行事等一覧 ⑤令和6年度児童生徒数・学級数・教職員数 ⑥令和6年度「由利本荘市まちづくり宅配講座」メニュー について ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R6. 5. 23 (協議会)	協 議 1. 本荘地域における学校再編について (統合小学校校歌・校章) 2. 児童生徒数の推移について
R6. 5. 23 (定例会)	報 告 ①令和6年度教育委員会関係 主な工事の状況 ②教育委員学校訪問一覧（6月・7月） ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④令和6年度学校運営協議会委員名簿 ⑤令和6年度「芸術鑑賞教室」開催要項 ⑥令和6年度「由利本荘市二十歳を祝う会」の開催について ⑦第50回全国高校総合文化祭秋田大会について ⑧事業・行事等の報告及び予定事項
R6. 6. 28 (定例会)	議案第20号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第21号 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について

	報 告	①鶴舞小学校・本荘東小学校の校歌・校章について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③ゆりほんICT子供の学びアップデートプランの進捗状況 と予定について ④令和6年度由利本荘市夏季教職員研修会開催要項 ⑤修身館企画展「新着・新指定資料展」 ⑥学校給食費収納状況について ⑦本荘地区公民館体制の新体制について ⑧事業・行事等の報告及び予定事項 ⑨本荘東小学校区放課後児童クラブ（学童保育）整備計画 について
R6.7.25 (臨時会)	報 告 議案第22号	①由利本荘市教育委員会教育長職務代理者の指名について 由利本荘市教育委員会の議席指定について
R6.7.25 (協議会)	協 議	1. 本荘地域における学校再編について (統合小学校校歌・校章)
R6.7.25 (定例会)	報 告	①本荘地域学校再編に係る協議について ②鶴舞小学校・本荘東小学校の校歌・校章について ③令和6年度小学校夏休みプール開放一覧について ④市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ⑤ツキノワグマ出没対応マニュアルについて ⑥令和5年度指定管理業務事業報告 (民俗芸能伝承館「まい一れ」) ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R6.7.31 (臨時会)	議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号	議会の議決に付すべき契約の締結について 議会の議決に付すべき契約の締結について 議会の議決に付すべき契約の締結について 議会の議決に付すべき契約の締結について 議会の議決に付すべき契約の締結について
R6.8.29 (臨時会)	議案第28号	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
R6.8.29 (定例会)	議案第29号 報 告	由利本荘市図書館条例施行規則の一部改正について ①令和6年度教育委員会関係 主な工事の状況 ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③「ゆりほんICT子供の学びアップデートプラン」進捗状況

		<p>について</p> <p>④令和 6 年度市内小・中学校の主な取組・功績等（4月～8月）</p> <p>⑤令和 6 年度社会教育・生涯学習関連の表彰について</p> <p>⑥日本遺産「北前船」展 （荒波を越えて絆いだ歴史と文化～北前船の残像～）</p> <p>⑦事業・行事等の報告及び予定事項</p>
R6. 9. 26 (定例会)	報 告	<p>①市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧</p> <p>②令和 6 年度由利本荘市・箕面市中学生交流事業</p> <p>③教育支援センターのオンラインによる教育相談について</p> <p>④令和 6 年度芸術鑑賞教室 実施報告について</p> <p>⑤事業・行事等の報告及び予定事項</p>
R6. 10. 24 (協議会)	協 議	<p>1. 総合教育会議及び教育大綱について</p> <p>2. 本荘東小学校校歌（作詞）について</p>
R6. 10. 24 (定例会)	報 告	<p>①市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧</p> <p>②令和 7 年度由利本荘市奨学生について</p> <p>③第 18 回科学フェスティバルについて</p> <p>④令和 6 年度「由利本荘市二十歳を祝う会」の開催について</p> <p>⑤日本遺産「北前船」展 付帯事業「講演会と北前船ゆかりの芸能」について</p> <p>⑥令和 6 年度秋田県子ども民俗芸能交流大会・第 16 回由利本荘市民俗芸能大会について</p> <p>⑦事業・行事等の報告及び予定事項</p>
R6. 11. 21 (定例会)	議案第 30 号 議案第 31 号 議案第 32 号	<p>由利本荘市立小中学校管理規則の一部改正について</p> <p>事務の管理及び執行状況の点検・評価実績報告書 (令和 5 年度実績) について</p> <p>令和 7 年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針について</p>
	報 告	<p>①令和 6 年度教育委員会関係 主な工事の状況</p> <p>②令和 6 年度本荘地域学校再編実施状況について</p> <p>③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧</p> <p>④令和 6 年度由利本荘市「中学生アカデミー」の実施状況について</p> <p>⑤「第 18 回科学フェスティバル」概要報告について</p> <p>⑥事業・行事等の報告及び予定事項</p>

R6. 12. 19 (協議会)	協 議	1. 本荘東小学校校章について
R6. 12. 19 (定例会)	議案第 33 号 議案第 34 号 議案第 35 号 報 告	由利本荘市立学校設置条例の一部改正について 由利本荘市学習センタ一条例の廃止について 由利本荘市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について ①「本荘地域における学校再編について（中間報告）」について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③令和 6 年度「冬季教職員研修会」について ④令和 6 年度「中学生会議」について ⑤令和 6 年度「由利本荘市・箕面市中学生交流事業」実施報告について ⑥北部学校給食センターの取組について ⑦令和 6 年度「二十歳を祝う会」について ⑧事業・行事等の報告及び予定事項
R7. 1. 16 (協議会)	協 議	1. 統合小学校校歌について
R7. 1. 16 (定例会)	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 報 告	議会の議決に付すべき契約の締結について 令和 7 年度教育予算の見積りについて 由利本荘市奨学資金貸与規則の一部改正について ①新山小学校改築事業・本荘東小学校建設事業について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③令和 6 年度第 2 回コミュニティ・スクール連絡協議会について ④令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果（概要） ⑤令和 6 年度市内小・中学校の取組・功績等（8 月～11 月） ⑥令和 6 年度「二十歳を祝う会」実施報告について ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R7. 2. 27 (臨時会)	議案第 4 号	令和 7 年度由利本荘市立小中学校教職員の定期人事異動について
R7. 2. 27 (定例会)	報 告	①令和 7 年度由利本荘市当初予算（案）について ②令和 6 年度教育委員会関係 主な工事の状況について ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧

	<p style="text-align: center;">④令和 6 年度 地区高校 1 次募集志願状況 ⑤事業・行事等の報告及び予定事項</p>
R7.3.27 (定例会)	<p>議案第 5 号 由利本荘市立鶴舞小学校校歌について 議案第 6 号 由利本荘市立本荘東小学校校歌について 議案第 7 号 由利本荘市立本荘東小学校校章について 議案第 8 号 由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第 9 号 由利本荘市学習センター条例施行規則の廃止について 議案第 10 号 由利本荘市指定文化財の指定について 議案第 11 号 令和 7 年度由利本荘市の教育について 議案第 12 号 令和 7 年 3 月 31 日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 議案第 13 号 令和 7 年 4 月 1 日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について</p> <p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年度 教育関係指導員等配置一覧 ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③令和 6 年度 奨学資金不能欠損処理等の見込みについて ④令和 7 年度 各学校医・学校歯科医・薬剤師一覧 ⑤市内小・中学校の主な取組・功績等（12月～2月） ⑥令和 6 年度学校給食費収納状況について（2月末現在） ⑦事業・行事等の報告及び予定事項

（2）教育委員の活動状況

①学校訪問（春）

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月 14日	小友小	7月 8日	岩城小・岩城中
6月 21日	由利小、由利中	7月 9日	本荘北中
6月 25日	尾崎小	7月 10日	大内小
6月 26日	子吉小	7月 11日	新山小
6月 27日	東由利小	7月 17日	鳥海小、鳥海中
7月 1日	本荘南中	7月 18日	西目小
7月 2日	岩谷小、大内中	7月 19日	矢島小、矢島中
7月 4日	東由利中	7月 22日	本荘東中
7月 5日	西目中		

②学校訪問（秋）

月　日	訪　問　校	月　日	訪　問　校
9月26日	本荘南中	10月26日	矢島小
10月21日	尾崎小、子吉小	10月27日	由利中
10月25日	東由利小		

③諸会議・研修等【教育長・教育委員】

月　日	会議名等	場　所	出席者
4月18日 ～19日	東北都市教育長協議会総会・研修会	宮城県大崎市	教育長
5月9日 ～10日	全国都市教育長協議会総会・研究大会	長崎県長崎市	欠席
5月29日	秋田県都市教育長協議会総会	秋田市	教育長
5月29日	秋田県市町村教育委員会連合会 第1回定期総会	秋田市	教育長
7月11日 ～12日	東北六県市町村教育委員会連合会総会	山形県山形市	教育長 教育委員
8月26日	秋田県市町村教育委員会連合会 第2回定期総会	秋田市	教育長
10月9日 ～10日	全国史跡整備市町村協議会大会	宮城県多賀城市	教育長
11月22日	B&G全国教育長会議	東京都千代田区	教育長
9月5日	全県市町村教育委員会教育長会議	秋田市	教育委員
11月5日 ～6日	由利本荘市・箕面市中学生交流事業	大阪府箕面市	教育長
11月20日	秋田県都市教育長協議会 教育長・関係課長会議	横手市	教育長
11月7日 ～8日	全国コミュニティスクール2024研究 大会	石川県金沢市	学校教育課 指導主事 (教育長代理)
1月22日	第17回B&G全国サミット	東京都中央区	教育長

(3) 計画の策定状況

「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈令和2～6年度〉」 令和2年2月策定
「第4次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈令和2～6年度〉」

令和2年3月策定

「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」

平成31年3月策定

「由利本荘市歴史文化拠点施設整備基本方針」

令和4年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

項目	(1) 確かな学力の形成	分 野	学校教育部門
点検・評価対象事業名	①諸調査の分析及び研修会	担当課	学校教育課
事 業 の 目 的	<p>○諸調査の分析を充実させることで児童生徒の実態を把握し、授業改善を図ったり課題に対応した効果的な手立てを講じたりすることができるようとする。</p> <p>○いじめの早期発見・即時対応や、不登校又はその傾向のある児童生徒への支援など、生徒指導上の諸課題への対応の充実を図る。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>○学力調査の分析・訪問指導等</p> <p>○児童生徒質問紙等の分析</p> <p>○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施、いじめ問題対策連絡協議会の実施</p>		
点 檢 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○学力調査の分析・訪問指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）採点委員会の開催（4月23日、24日） ・秋田県学習状況調査（小4～中2対象）採点委員会の開催（12月10日、11日） 　小・中学校の教員が集まり、教科毎に採点をし、成果と課題について協議した。 特に課題については、その要因や改善に向けて指導の際に意識したいこと等も協議し、協議内容を各校へ情報提供することで授業改善を図った。 ・総合学力調査（小5～中3対象）の実施（4月） 　結果について、各校でWeb分析システムを活用して観点や領域、基礎・応用などのカテゴリー別に分析し、成果と課題を検証している。事後指導には、児童生徒個々の学習状況に応じた復習シートを活用した。また、小5と中2の結果については、市教育支援センター運営委員会の総合学力調査分析検討会において、各教科毎に正答率が低い問題を選定し、その要因や授業改善のポイント、類題等を記載したシートを作成し、各校に提供している。 ・市授業力向上訪問等の実施（各校の希望日6月～2月：40回） 　県教育委員会等の訪問がない学校を訪問し、授業研究会や研修会を通して、学習指導要領に沿った指導や児童生徒の主体的な学びを促す手立て等、授業改善のポイントや、タブレット端末等ICT機器の効果的な活用などについて助言した。 			

○児童生徒質問紙等の分析

各教科への取組状況、家庭での過ごし方や学習時間、授業でのＩＣＴ機器の活用など生活習慣や学習習慣に関する意識を分析し、その結果を市のホームページに掲載したほか、各学校の学校報に「結果概要」を掲載するよう依頼し、保護者や地域住民に広く周知した。

○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施

・学校生活アンケート（7月・11月）の実施

いじめの解消を目的とし、いじめに関する記述についてはそのすべてに即時対応し、指導や見守りを継続した。

・不登校児童生徒実態調査（9月）の実施

不登校またはその傾向のある児童生徒の実態と対応について把握し、各校に対して適応指導教室やその他関係諸機関との連携を働きかけるなど、指導の充実を図った。

・いじめ問題対策連絡協議会（6月・1月）の実施

いじめの実態やいじめ防止に関する方針等について学校、家庭及び関係機関による情報交換を行い、いじめ問題への対策や関係機関との連携の在り方等について協議し、その内容を各学校に情報提供した。

今後の課題及び改善策・方向性

○学力調査の分析結果について周知を図るとともに、各校で分析結果を授業改善に生かし、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図ることができるよう、研修会や学校訪問等で各校の状況を踏まえた適切な助言をする。また、意識調査の結果を学校での指導に生かし、家庭や地域との連携を一層深めるよう働きかける。

○各校における児童生徒の「居場所づくり・絆づくり」の取組や、学校、家庭、関係諸機関との連携、及び「個」に応じた支援が一層充実するような働きかけを継続していく。また、「個」に応じた支援として、ＩＣＴを活用した学習支援の充実を図っていくとともに、教育支援センター支援員による教育相談や学習支援の充実を図っていく。

学識経験者の意見

○不登校への支援に対して、家庭との密着なコミュニケーションを図り、個々の児童生徒に最適なアプローチができる体制の構築が重要である。家庭支援プログラムの専門家の協力を得ることも有効な対策だと思う。

○教員の業務負担を軽減し、オンライン研修の活用や教員同士の相互学習の環境をつくることが効果的ではないか。

- デジタル技術の導入は学力向上の重要な要素と考える。ＩＣＴ機器や教材の整備を推進することが求められる。これにより、家庭学習の質を高め、学習の機会を拡大することができるのではないか。
- 地域ボランティアや企業との連携を模索し、地域資源を生かした教育活動を展開することが重要である。地域全体で子ども達を支える環境を構築することで、教育の質と児童生徒の幸福感が高まることを期待したい。
- 学力調査等の個別分析データの提供について、細やかな対応が家庭でもできるよう、改めてわかりやすい情報提供の形を継続し、改善点があるようであれば改善してわかりやすく提供してほしい。
- 学校生活等のアンケートや調査等の実施に関して、教育支援センターの支援員の方々、引き続き十分な対応ができる人員の確保をお願いしたい。

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	②特別支援教育及び就学前教育等への支援		
事 業 の 目 的	<p>○早期からの教育相談体制を整備し、子どもや保護者に寄り添った支援を継続していくことで「0歳から就労まで」の切れ目ない支援体制を構築する。</p> <p>○健康福祉部三課（こども未来、健康づくり、福祉支援）と連携して情報共有を図り、子どもや保護者の実態に応じた支援を行う。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>○「5歳児健康相談」における教育相談の実施</p> <p>○園訪問と教育相談の実施</p> <p>○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置</p> <p>○特別支援教育支援員の配置</p>		
点 檢 評 価 及 び 説 明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る ■ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p>		
○ 「5歳児健康相談」における教育相談の実施	<p>市内すべての5歳児（年中児）を対象とした健康相談において、健康づくり課やこども未来課との連携により教育相談を実施し、情報の共有化を図った。</p> <p>遊びの様子を観察したり、発達検査の結果を共有したりしながら、保健師や保育士、臨床心理士、支援学校の教育専門監と連携し、子育てや就学に関する支援方法を検討した。また、就学までの家庭での支援や準備に関する情報を保護者に提供した。</p>		
○園訪問と教育相談の実施	<p>4月に、園が作成した実態表を基に「特別な配慮を要する年長児」を把握し、5～6月の園訪問で対象児の観察と職員からの情報収集を行った。</p> <p>特別支援教育に係るリーフレット「就学までのながれ」を活用して園の職員と打合せを実施した。また、相談会や教育相談、就学決定の時期等についても説明し、理解と協力を得た。</p> <p>就学後に生活サポート等の支援を希望する園児と保護者を対象に、就学先の小学校での教育相談を実施した。学校見学や授業参観をしたり、就学後に予想される困り感に対する支援について話し合ったりした。</p>		
○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置	<p>保育園や認定こども園等から小学校への円滑な就学に向けて、就学支援員を配置している。入学後に特別な支援を必要とする園児の小学校での教育相談に同行したり、</p>		

「学ぶんファイル」の作成や活用を勧めたりして、円滑な引継ぎを行った。

また、児童通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し、実態に応じて、小学校入学後の活動につながる個別指導を実施した。

小学校から中学校、中学校から高校・特別支援学校への引継ぎを確実に行うために、学校間連携コーディネーターを配置した。児童生徒や保護者と面談することで、進路に関する情報を提供したり助言したりした。また『引継ぎシート』を活用した学校間の円滑な引継ぎと見届けを支援した。

○特別支援教育支援員の配置

各学校の実情や児童生徒の教育的ニーズに応じた学習、生活、医療面での支援をする特別支援教育支援員の配置を行った。

4月に行われた県主催の研修会に同行し、研修の様子や参加者の考えを把握した。また、7月に市主催の研修会を開催し、支援員からの悩みや効果的な支援についての意見交換を通じて、今後の支援について考える機会とした。

今後の課題及び改善策・方向性

○特別な支援を要する児童生徒について、就学支援員や学校間連携コーディネーターの役割を生かしながら、各園や学校が主体となって引継ぎができるように支援していく。

○特別支援教育支援員の配置について、対象児童生徒が年々多くなっており、希望どおりの配置ができない状況にある。学校の実情や児童生徒の実態をより細かく把握し、自立に向けた効果的な支援ができるように、配置の工夫や支援方法の提案をしていく。

学識経験者の意見

○特別支援が必要な子ども達への教育プログラムの評価指標の策定を提案したい。

これにより、施策の効果を測定し、改善に繋げることができるのではないか。

○保護者向けの教育やコミュニケーション支援を強化し、家庭でのサポートができるようにすることで、子ども達の生活全般における向上が図られるのではないか。地域コミュニティを巻き込んだ支援ネットワークの設立を進めることが必要である。地域資源を活用した支援が、子ども達の成長に寄与できるのではないか。

○専門的な知見が必要となる複雑なパターンが増えている中で、これだけの対応をしていることはすばらしいこと。成長に伴い学校環境の変化等があったときにも変わらず継続的な支援を強く求めたい。

		分 野	学校教育部門				
項 目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課				
点検・評価対象事業名	③学校の I C T 環境整備						
事 業 の 目 的	<p>○国のG I G Aスクール構想により、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備が進んだことに伴い、本市においても、学びの個別化、主体的な学びの促進等、これからの中学校教育で重視される学びの形の実現に向け、端末や機器等の整備・活用に向けた環境面の充実など、I C T環境の整備を推進していく。</p>						
事 業 の 実 施 状 況	<p>○タブレット端末等の機器類の整備、使用する際のルールの策定及び保護者への周知など、日常的な使用に向けた環境整備</p> <p>○学校での I C T 活用の推進</p> <p>○タブレット端末の家庭への持ち帰りに向けた環境整備</p>						
点 檢 評 価 及 び 説 明	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>目標を上回る</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>■ほぼ目標どおり</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる</td> <td><input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ■ほぼ目標どおり	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ■ほぼ目標どおり						
<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる						
<p>○G I G Aスクール構想によるタブレット端末の整備</p> <p>導入の目的や活用場面のイメージ、使用時のルール、持ち帰り時の注意事項等について文書を整え、児童生徒及び保護者に周知した。機能やソフトの使い方について教員向け研修会を実施し、指導者のスキルアップを図った。タブレット端末の使用頻度の高まりとともに修理等の報告も増加し、随時迅速に対応した。</p> <p>○「ゆりほん I C T 子供の学びアップデートプラン」の推進</p> <p>G I G Aスクール構想をより具体化するために、由利本荘市独自の「発信する力」「創る力」「拡げる力」「環境整備」の四つの柱に沿った年次計画を推進した。令和6年度は、各小・中学校への I C T 支援員の派遣、学校ウェブサイトの充実、タイピング競技会や3 Dプリンター創作教室の開催、プログラミング教材の貸出しを重点的に進めた。</p> <p>○プロジェクター等の関連機器の整備と管理</p> <p>各学校の普通教室及び特別教室に整備された、電子黒板機能を備えたプロジェクターや書画カメラなどは、全ての学校において日常的に活用されている。</p> <p>○タブレット端末持ち帰りのための環境整備</p> <p>インターネット環境整備支援としての家庭へのモバイルルーターの無償貸与、学校外でも機能するフィルタリングソフトの利用を継続している。</p>							

今後の課題及び改善策・方向性

- 児童生徒が先端技術に触れるための3Dプリンター創作教室やドローン操作体験など、ゆりほんICT子供の学びアップデートプランを、見通しをもって具体的に進める。
- 児童生徒個々に応じた学習に対応できるというタブレット端末の特性を生かすため、個別に最適化された教材の活用や、授業での協働的な学びの場面での活用を促す。

学識経験者の意見

- 家庭でのICTの利用促進に向けた啓発活動を行い、家庭環境が学びをサポートする重要性を喚起する必要がある。
- 教育現場におけるICTの成功事例を共有し、他校の取組にも反映させたらどうか。
- 学校と地域、家庭の連携を強化し、包括的な教育支援体制を構築することで、全体的な教育効果を高める必要があるのではないか。
- 使い慣れてきた次の段階の目標、もっと先を見据えた段階の対応が必要になってくる。ネットリテラシーなど保護者への周知も必要になってくるのではないか。
- 便利なものは、使い慣れるほど子どもたちのスキルの伸びが良い方にも悪い方にも行くことがあります。その点については、フィルタリングなどで対応・確認しているとのことだが、もし具体的なデータがあれば、それを提供するタイミングも今後出てくるのではないか。

		分 野	社会教育部門
項 目	(1) 社会的課題に対応した 教育・学習活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	①芸術鑑賞教室		
事 業 の 目 的	<p>○市内に在住する児童・生徒に対し、毎年芸術文化の公演等を鑑賞できるよう、その機会の拡大を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>市内小学校13校、中学校10校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。</p> <p>こころの劇場は、平成28年度よりにかほ市の小学校6年生も招待しており、今年度も4校から158名が参加した。</p> <p>今年度は劇団四季の舞台でも終演後の出演者による会場外での「お見送り」が再開した。今年度は舞台を始め、ミュージカル、打楽器、寄席などジャンルを分けて開催した。秋田市に芸術劇場ミルハスが出来て2年になり、多様なジャンルのイベントが開催されるようになったが、本市内で本物の芸術に触れる機会はまだまだ多くない。とりわけ、今回のわらび座のミュージカル公演は地元の高校を舞台とした内容となっており、地元の中学校・高校を卒業した先輩たちが舞台役者として凱旋公演をしているため、生徒にとっては例年とはまた違った芸術鑑賞になったと思われる。</p>		
○実施概要			
開催場所：カダーレ			
*小学校下学年の部（1～3年生）	参加者数：1,796人		
・開催期日：令和6年9月5日（木）～9月6日（金）	3公演		
・上演作品：音楽：『世界の打楽器リズムコンサート』			
*小学校上学年の部（4～5年生）	参加者数：1,220人		
・開催期日：令和6年9月13日（金）	2公演		
・上演作品：古典芸能：「わんぱく寄席」			
*小学校6年生の部（劇団四季 こころの劇場）	参加者数：774人		
・開催期日：令和6年7月16日（火）	1公演		
・上演作品：ミュージカル『エルコスの祈り』			
*中学校の部（1～3年生）	参加者数：1,695人（引率者含む）		
・開催期日：令和6年9月3日（火）～9月4日（水）	3公演		
・上演作品：ミュージカル『青春するべ！～由利高校民謡部ストーリー～』			

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p>		
<p>○全校がカダーレに会し、本格的なホールでの鑑賞を経験する機会を設ける。</p>		
<p>今後の課題及び改善策・方向性</p>		
<p>○年々生徒の輸送にかかるバスの燃料費や人件費が高騰していることに加え、今年度は特に「市のバスの台数が年々減少している」バス不足や、「バスは空いているものの運転手がない」運転手不足も深刻であった。</p>		
<p>学識経験者の意見</p>		
<p>○小中学生の時期にこういったものに触れる機会はとても大事で素晴らしい事業だと思う。経費的な話としては、例えば座席数に余裕があるのであれば保護者に声掛けをしたらどうか。多少お金を払っても見てみたいという保護者もいると思うので、そういったところで経費的な部分にも対応できるのではないか。素晴らしいものを観てきたということを家庭でも話をする機会になると思うので、可能であれば保護者を巻き込む形を検討してほしい。</p>		
<p>○子ども達にとっては大変よい経験である。地域の伝統や文化に関するワークショップや定期講座などを開設して、児童生徒や地域住民の参加を促すことで文化活動への関心を高めるといった方法もあるのではないか。</p>		
<p>○地域の企業や団体と連携してスポンサーを募り予算面での支援を受けることによって、事業を継続していくのではないか。</p>		
<p>○地域の高校生や大学生と連携して、学生ボランティアを巻き込んで事業を行い、運営コストの削減や参加者の増加を図ることもできるのではないか。</p>		

		分 野	社会教育部門
項 目	(2) 読書の大切さの啓発と 読書活動の推進	担当課	中央図書館
点検・評価対象事業名	子どもの読書活動推進事業		
事 業 の 目 的	<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。</p> <p>○「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年 7月12日 子どもの読書活動推進会議 代表者会議 ・令和6年 8月 9日 子どもの読書活動推進会議 全体会 ・令和6年 9月19日 子どもの読書活動推進会議 役員会 ・令和6年10月 5日 おはなしフェスティバル ・令和6年 8月 9日 子どもの読書活動推進会議 全体会 ・令和7年3月発行 「心にとどけスマイル便第18号」 (配布は令和7年4月) <p>※令和2年度以降、コロナ禍により中止していた「おはなしフェスティバル」を開催し、読みきかせサークル7団体に加え、本荘高校・由利高校の放送部生徒の参加もあった。</p> <p>また、プログラム終了後、出演団体の意見交換の場を設け、団体同士の研修や交流を行った。</p> <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・支援学校：14件、対象人数：515名 <p>実施保育園等内訳</p> <p>令和6年 8月29日 (県立ゆり支援学校 小学部1・2年生) 繪本セット貸出</p> <p>9月 6日 (県立ゆり支援学校 小学部3・4年生) 繪本セット貸出</p> <p>9月25日 (石脇北保育園) 繪本セット貸出</p> <p>10月 3日 (子吉保育園) 繪本セット貸出</p> <p>10月10日 (県立ゆり支援学校 小学部5・6年生) 繪本セット貸出</p>		

10月24日（小友保育園）絵本セット貸出
10月28日（ゆり保育園 2～3歳児、4～5歳児）
10月30日（風の子保育園）
11月14日（内越保育園）
11月21日（下川大内保育園）絵本セット貸出
12月13日（石脇東保育園）
令和7年 1月16日（石沢保育園）絵本セット貸出
1月29日（認定こども園 本荘幼稚園）
2月13日（中央保育園）絵本セット貸出
※園児・児童の減少により、参加人数は減少しているが、読みきかせボランティアの協力により、昨年度と同数の開催を行うことができた。（対象人数：120人の減少）

○図書館を使った調べる学習コンクール事業

- ・応募点数：25点（全国コンクール推薦：2点）
- ・作品募集期間：令和6年7月1日～9月23日
- ・関連講座：7月14日「子どもと一緒に調べ学習を楽しもう！」
- ・相談対応：随時
- ・表彰式：11月2日

点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
----------	--	---

○新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、徐々に事業が復活していった。各部会の活動はほぼ計画通りに行うことができ、成果も見られた。
特に市子どもの読書活動推進会議が実施している「おはなしフェスティバル」は、令和2年度以降中止していたものを復活することができ、盛大に開催することができた。

○読み聞かせボランティア派遣事業については、絵本セットの貸出を継続して実施し好評を得ている。

○「心にとどけスマイル便」として第18号を発行し、子ども読書活動の推進を図っている。

○「第7回由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、前年の19点を上回る25点の応募があった。

今後の課題及び改善策・方向性

- 小さな子どもたちの参加を得て実施される行事が多いため、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防対策に留意して、安全な事業運営、活動ができるよう「読み聞かせボランティア」「図書館」「保育園・幼稚園」「学校」「地域」が連携し、子どもの読書活動をより活性化させる計画と取組の推進に努める。
- 市子どもの読書活動推進会議が実施している研修会等についても、感染拡大状況に留意しながら、可能な範囲で子どもたちに関わる教職員（学校司書）、保育士等の参加も呼びかけたい。また、読み聞かせや子どもの読書活動に関心のある一般市民も参加できる事業等も積極的に検討し実施につなげていきたい。
- 近年、活動を休止した読み聞かせボランティア団体がでており、各団体におけるボランティア数減少と高齢化が継続して進んでいる。従来の広報誌に加え、ケーブルテレビ等メディアを活用して各ボランティア団体の活動等を周知すると共に、読み聞かせに关心がある市民を活動に誘導する取組を計画、実施する必要がある。新たなボランティアの掘り起こしと後進の育成のための育成講座等の計画を検討したい。
- 「図書館を使った調べる学習コンクール」においては、多彩な文章とイラストを盛り込んだ作品や、海の生物などを調査研究した作品の応募があり、地域コンクールの意義が浸透しており、これまでの最多作品数となった。
高校生の応募がなかったが、近年では大人の部においても応募があった。
また、外部講師に頼るだけでなく、図書館職員が相談・指導に関わる事業として取り組んでいる。

学識経験者の意見

- 目標を上回るぐらいの取組を継続していくことで、高校生の活動にも繋がっていく、大人になってからも同様に対応してもらえるようにしていくことが大事である。これができればボランティアの減少、高齢化を止めるという流れに繋がっていくのではないか。どんな事業でも人が足りないとか、頼むことができなくなってくるというのはわかっているので、その対応についても課題として取り組んでいることは評価したい。
- どの事業においても人を集めたり、関心を持ってもらうことは難儀することだと思う。地域の特性もあるかもしれないが、ニーズや分析を行い、多様な参加者層に合わせたイベントの企画、特に若年層の参加を促す工夫があればよいと思う。
- 地域住民のアイデアを取り入れるワークショップの開催など、自発的な活動を促進し、その活動を向上させる手法を模索することも大事なことである。

分 野	社会教育部門		
項 目	(3) 生涯学習・社会教育施設の整備と管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	社会教育施設等照明LED化事業等		
事業の目的	<p>○市民にとって身近な公民館等、社会教育活動の拠点施設の備品設備の充実により利用者サービスの向上を図る。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>○市民交流学習センター照明LED改修修繕 16,304千円 ○市民交流学習センター屋根漏水修繕 1,496千円 ○市民交流学習センター火災受信機等更新修繕 6,749千円 ○市民交流学習センター講堂両開非常口ドア交換修繕 1,980千円 ○南内越公民館渡り廊下修繕 2,068千円 ○西目公民館冷却塔部品交換整備修繕 2,530千円 ○直根公民館幹線廃線更新修繕 1,265千円 ○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○老朽化した市民交流学習センター等の補修・改修を実施することにより、利用者の安全と快適性の確保など、利用者サービスの向上に資することができた。 ○市民交流学習センターの照明をLED化したことにより、利用者がより快適に学習できる環境整備ができた。</p>		
学識経験者の意見	<p>○利用する市民に寄り添った形で修繕を行ってほしい。 ○計画により既に決まっている部分もあるかと思うが、緊急性の高いものから優先して改修を行ってほしい。 ○適宜モニタリングを行うなど効果を把握しながら次のステップに繋げていくことが大事である。</p>		

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(1) 学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の推進		
事 業 の 目 的	<p>○児童規模において、100人以下の小規模校から800人規模の大規模校まで6校で構成されている本荘地域において、児童の減少が今後も続き、複式学級導入の学校も複数生じてくる可能性を重く捉え、学校間の教育環境の格差を解消し、文部科学省が示している適正規模・適正配置に基づいた均衡ある学校を構築するため、「第二次学校環境適正化基本計画」を平成31年3月に策定し、本荘地域の適正な学校環境の推進に向け、その取組を進める。</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>○小友小・石沢小統合に向けた取組</p> <p>令和元年 8月19日 教育委員会 定例会「小友小・石沢小の統合及び時期について」承認 小友小学校・石沢小学校統合準備委員会設置要綱施行</p> <p>令和元年10月30日 「第1回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p> <p>令和元年12月19日 「第2回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p> <p>令和2年 1月30日 「第3回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p> <p>令和2年 2月18日 小友・石沢スポーツ少年団の体制に係る協議</p> <p>令和2年 6月 5日 統合後の通学方法に係る意見交換会</p> <p>令和2年 7月20日 「第4回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p> <p>令和2年11月 3日 「石沢小学校閉校記念式典」</p> <p>令和2年12月22日 「第5回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p> <p>令和3年 2月26日 「第6回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p>		
【結果】	<p>統合年月：令和3年4月 使用校舎：小友小学校校舎</p> <p>校 名：「小友小学校」 校歌・校章：小友小学校の校歌・校章</p> <p>※児童の通学には、路線バス・スクールバスを併用する。</p> <p>※現在石沢小学校で行っている、石沢地域の伝統・文化を活かした取組を小友小学校に引き継ぐ。</p>		

○統合小学校建設・改築に向けた取組

令和元年10月31日 「本荘地域学校再編委員会設置要綱」施行

令和元年12月 2日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年 2月 20日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年10月 6日 「第3回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年11月 11日 「第4回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会報告】

統合小学校の建設予定地は、本荘東中学校の市道松街道線を挟んだ西側とする。

通学区域は、小・中1ユニットの視点、四校からの通学面など総合的に考え、現本荘東中学校の通学区域を適用する。

令和2年11月24日 「教育委員会 定例会」で承認・決定

令和3年 7月 29日 「本荘南中学校区統合小学校準備委員会設置要綱」、「本荘東中学校区統合小学校準備委員会設置要綱」施行

令和3年 9月 28日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

令和3年10月 28日 「第1回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年11月 19日 「第1回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年12月 21日 「第2回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年 3月 4日 「第2回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」
※中止のため、アンケートを実施。

令和3年 3月 「第2回 本荘地域学校再編委員会」※中止

令和4年 7月 19日 「第1回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和4年 7月 29日 「第1回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和4年 8月 10日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

令和4年10月 3日 「第2回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和4年10月 26日 「第2回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和4年12月 15日 「第3回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和5年 1月 17日 「第4回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和5年 2月 8日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの提言】 令和5年3月10日

本荘南中学校区統合小学校 使用校舎 → 尾崎小学校校舎

本荘南中学校区統合小学校 校名 → 鶴舞小学校

本荘東中学校区統合小学校 校名 → 本荘東小学校

令和5年 8月 3日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」
令和5年 9月 13日 「第1回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和5年 9月 21日 「第1回 鶴舞小学校開校準備委員会」
令和5年 11月 14日 「第2回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和5年 11月 30日 「第2回 鶴舞小学校開校準備委員会」
令和6年 1月 11日 「第3回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和6年 1月 17日 「第3回 鶴舞小学校開校準備委員会」
令和6年 2月 13日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの提言】 令和6年3月7日

鶴舞小学校校歌 → 新しく制定する

鶴舞小学校校章 → 現鶴舞小学校の校章を引き継ぐ

本荘東小学校校歌 → 新しく制定する

本荘東小学校校章 → 新しく制定する

令和6年 7月 23日 「第1回 鶴舞小学校開校準備委員会」
令和6年 7月 30日 「第1回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和6年 8月 7日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」
令和6年 10月 29日 「第2回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和6年 11月 12日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの中間報告】 令和6年12月16日

本荘東小学校の児童のスクールバス運行計画について

計画に示した4つのルートの運行に伴うスクールバスの整備等について遺漏なく進めること

(1) 櫛引、鳥川、鮎瀬

(2) 北ノ股、南ノ股、金山、館前、大沢、玉ノ池（冬季のみ）

(3) 葛法、船岡

(4) 藤崎（冬季のみ）

令和7年 1月23日 「第2回 鶴舞小学校開校準備委員会」
令和7年 1月30日 「第3回 本荘東小学校開校準備委員会」
令和7年 3月11日 「第3回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの最終報告】 令和7年4月28日

鶴舞小学校児童の通学方法、本荘東小学校児童の通学方法とスクールバス運行計画について

通学距離が4km未満の児童については徒歩通学、4km以上（冬期間2km以上）の児童については遠距離通学の対象とする。

- (1) 公共交通機関（路線バス）の沿線に居住する児童は原則として路線バスを利用し、通学定期券を支給する。
- (2) 路線バスの停留所からの距離が遠く、通学に支障が生じると見込まれる場合はスクールバスを運行し通学手段を確保する。

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
○「第二次学校環境適正化基本計画」に従い、本荘南中学校区及び本荘東中学校区の小学校統合を円滑に進めるために、昨年度に引き続き、学識経験者や地域、学校、PTA等で組織する「学校再編委員会」及び「開校準備委員会」を設置し、「通学方法及びスクールバス運行計画」について、具体的な協議を進め、「学校再編委員会」からの報告書としてまとめることができた。		
○スクールバスの整備を円滑に進めるため、来年度の予算要求に合わせて「中間報告書」を提出していただき、予算確保に向けて遺漏なく対応することができた。		
○報告書の作成にあたっては、会議のほか、委員長・副委員長との協議も行いながらより具体的な協議や意見集約を行った。		
今後の課題及び改善策・方向性		
○「学校再編委員会」からの報告書の内容について、広く市民に周知するとともに、教育委員会や市当局との協議を進め、開校に向けて遺漏のないよう進める必要がある。		
○来年度も遅滞なく「学校再編委員会」を開催し、7年度の協議事項やスケジュールを作成し、適宜「開校準備委員会」も開催しながら、開校に向け円滑に協議を進める必要がある。		

学識経験者の意見

- 小規模学校同士の統合になるので、不安を解消するための保護者向けの情報提供や相談窓口を設けて透明性を確保することが大事。
- 地域住民との意見交換を定期的に行い、同意を得ながら進めてもらいたい。
- 市民への周知という点では十分に周知したつもりでも、学童施設の件のように説明不足であったりするので、市民がはっきり理解できるくらいの情報提供をお願いしたい。
- スクールバスについては一定の条件があるのはわかるが、現在、クマの出没が多い中で、そういうものに対する配慮もしなければならないところもあるのではないか。

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	①新山小学校改築事業		
事 業 の 目 的	<p>○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築60年近く経過した新山小学校の校舎を改築し、学校環境の適正化を図る。</p> <p style="text-align: right;">【学校施設環境改善交付金事業】</p>		
事 業 の 実 施 状 況	<p>令和元年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本設計業務委託（耐力度調査を含む） <p>委託期間 R 1. 8. 9～R 2. 3. 19 契約金額 22,446,600円 契約相手 村田・アルファ設計共同企業体</p> ● 敷地測量業務委託 <p>委託期間 R 1. 12. 13～R 2. 3. 19 契約金額 1,353,000円 契約相手 三栄測量株式会社</p> <p>令和2年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施設計業務委託 <p>委託期間 R 2. 7. 17～R 3. 3. 19 契約金額 75,020,000円 契約相手 村田・アルファ設計共同企業体</p> ● 地盤調査業務委託 <p>委託期間 R 2. 7. 27～R 3. 1. 22 契約金額 6,160,000円 契約相手 秋田ボーリング株式会社</p> <p>令和3年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築主体工事（第I・II期） <p>工事期間 R 3. 6. 17～R 6. 9. 30 契約金額 2,605,900,000円 契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体</p> 		

●機械設備工事（第Ⅰ期）

工事期間 R3.6.17～R4.9.30

契約金額 331,100,000円

契約相手 三共施設・山二施設・高橋秋和特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅰ期）

工事期間 R3.6.1～R4.9.30

契約金額 146,740,000円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託

委託期間 R3.6.14～R6.10.11

契約金額 58,850,000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

令和4年度事業

●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期）※継続

工事期間 R3.6.17～R6.9.30

契約金額 2,868,305,000円

契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体

●機械設備工事（第Ⅰ期）※継続

工事期間 R3.6.17～R4.9.30

契約金額 331,100,000円

契約相手 三共施設・山二施設・高橋秋和特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅰ期）※継続

工事期間 R3.6.1～R5.1.31

契約金額 158,997,300円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R3.6.14～R6.10.11

契約金額 58,850,000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

●管理用備品購入

購入内容 児童用机・イス、カーテン類、時計、パーテーション 他

契約金額 25,345,617円

契約相手 (株)スダキ商事、(株)あおい装飾、(株)栄和

令和5年度事業

●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期）※継続

工事期間 R3.6.17～R6.9.30

契約金額 2,971,408,000円

契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体

●機械設備工事（第Ⅱ期）

工事期間 R5.6.13～R6.9.30

契約金額 272,250,000円

契約相手 三共施設・山二施設特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅱ期）

工事期間 R5.6.13～R6.9.30

契約金額 179,300,000円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R3.6.14～R6.10.11

契約金額 58,850,000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

令和6年度事業

●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期）※継続

工事期間 R3.6.17～R6.9.30

契約金額 2,971,408,000円

契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体

●機械設備工事（第Ⅱ期）※継続

工事期間 R5.6.13～R6.10.31

契約金額 272,250,000円

契約相手 三共施設・山二施設特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅱ期）※継続

工事期間 R5.6.13～R6.10.31

契約金額 179,300,000円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R3.6.14～R6.10.11

契約金額 58,850,000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

●第Ⅲ・Ⅳ期工事設計再積算業務委託

委託期間 R 6. 5. 10～R 6. 8. 9

契約金額 2, 420, 000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

●低学年教室棟解体工事

工事期間 R 6. 9. 20～R 7. 3. 31

契約金額 72, 050, 000円

契約相手 村岡建設工業（株）

●キャノピー建築工事 ※7年度事業

工事期間 R 7. 2. 14～R 7. 8. 29

契約金額 44, 550, 000円

契約相手 村岡建設工業（株）

●広場整備工事 ※7年度事業

工事期間 R 7. 2. 14～R 7. 8. 29

契約金額 44, 550, 000円

契約相手 エコシビル（株）由利本荘支店

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
○通常の学校運営を行っている中での工事となるため、騒音対策や児童や教職員等の安全を第一に、従事する職員の事故防止や熱中症対策などにも十分配慮しながら、第Ⅱ期工事を無事に終えることができた。		
○第Ⅲ・Ⅳ期工事に係る設計書の再積算を行い、物価の高騰等に対応したほか、新たに低学年教室棟の解体工事に着手するとともに、さらに工事をスムーズに行うため、議会の承認を得て7年度事業分の工事2件も発注し、第Ⅲ期工事に係る手続きを遺漏なく行うことができた。		
今後の課題及び改善策・方向性		
○隣接する既存校舎で通常の学校運営を行っている中での作業であるため、引き続き児童や職員の安全に十分配慮しながら円滑に工事を進める必要がある。		
○来年度も第Ⅲ期工事の完成後、遅滞なく第Ⅳ期工事の発注を行うことができるよう、議会対応や予算要求をはじめ、手続きに遺漏のないように努めたい。		

学識経験者の意見

- 工期が長いこともあり、地域住民や教育関係者との意見交換を定期的に開催し、随意意見を反映させながら事業を見直す仕組みを構築することも大切である。
- 事業や予算の透明性を高めるため、情報共有のみならず開発者やユーザーの革新的なアイデアや価値を実現するための土台や役割も果たすべく、保護者や地域住民が進捗を確認出来る仕組みや機会があればよい。
- 社会福祉団体や地域企業との連携を強化し、資金や人道的支援を得る方法を探ることも必要である。
- 学校内での安全対策や環境整備に関するワークショップを児童や保護者向けに開催し、意識の向上と具体的な行動に繋がる取組があればよい。
- 工事が予定どおり進んでいることが一番であるが、先日、会議でお邪魔した際に工事中のせいだと思うが駐車場がわかりにくく照明もなかったため、配慮をお願いしたい。

		分 野	教育環境整備部門		
項 目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課		
点検・評価対象事業名	②本荘東小学校建設事業				
事 業 の 目 的	<p>○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、少子化や学校施設の老朽化などによる学校間の教育環境の格差を解消し、均衡ある学校を構築するため、子吉小、小友小及び尾崎小の一部を統合し、学校環境の適正化を図る。</p> <p style="text-align: right;">【公立学校施設整備費負担金事業】</p>				
事 業 の 実 施 状 況	<p>令和3年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●敷地造成地質調査業務委託 <p>委託期間 R 3. 3. 5～R 3. 6. 30 契約金額 3, 946, 800円 契約相手 (株) 鹿渡工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●敷地造成測量設計業務委託 <p>委託期間 R 3. 3. 5～R 4. 2. 25 契約金額 28, 876, 100円 契約相手 (有) サン測量設計事務所</p> <p>令和4年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地質調査業務委託 <p>委託期間 R 4. 7. 29～R 5. 3. 24 契約金額 32, 367, 500円 契約相手 (株) 鹿渡工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本設計業務委託 <p>委託期間 R 3. 12. 28～R 4. 10. 29 契約金額 1, 970, 800, 000円 契約相手 草階・あいば・村上設計共同企業体</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実施設計業務委託 <p>委託期間 R 4. 12. 23～R 6. 3. 29 契約金額 108, 900, 000円 契約相手 草階・あいば・村上設計共同企業体</p>				

令和5年度事業

●建設用地造成工事

工事期間 R 4. 5. 30～R 5. 4. 28

契約金額 327,765,900円

契約相手 三浦・山勇・大沼建設工事共同企業体

●グラウンド整備設計業務委託

委託期間 R 5. 6. 23～R 5. 12. 25

契約金額 2,946,900円

契約相手 (有)サン測量設計事務所

令和6年度事業

●校舎棟A工区建築工事

工事期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 10

契約金額 1,970,800,000円

契約相手 長田建設・菊地建設特定建設工事共同企業体

●校舎棟B工区建築工事

工事期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 10

契約金額 898,150,000円

契約相手 塚本建設・伊藤建友特定建設工事共同企業体

●体育館棟建築工事

工事期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 10

契約金額 902,000,000円

契約相手 村岡・山科特定建設工事共同企業体

●校舎棟・体育館棟機械設備工事

工事期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 10

契約金額 754,600,000円

契約相手 山二施設・三共施設・加藤施設特定建設工事共同企業体

●校舎棟・体育館棟電気設備工事

工事期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 10

契約金額 473,000,000円

契約相手 ユアテック・仁賀保電機工業建設工事共同企業体

●監理業務委託

委託期間 R 6. 8. 7～R 8. 2. 20

契約金額 74,800,000円

契約相手 草階・あいば・村上設計共同企業体

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	■ほぼ目標どおり
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
○定例打合せ（月1回）の他、監督員（建築住宅課）と連携し、適宜、施工業者や監理業者との連絡調整や打合せを行いながら、常に進捗状況を把握し、円滑な工事の実施に努めることができた。		
○近隣に一番堰まちづくりエリアや本荘東中学校、住宅密集地があるため、施工業者、監理業者と連絡調整を図りながら、現場の安全管理はもちろんのこと周辺地域への配慮にも努めた。		
今後の課題及び改善策・方向性		
○来年度に発注する外構工事やグラウンド整備工事について、すみやかに入札・契約等の手続きを行い、6月議会の議決を経て遅滞なく工事の発注を行う必要がある。		
○引き続き工事中の安全対策をはじめ、騒音対策など工事による影響を最小限に留めるよう綿密な計画を立て、周辺施設や地域住民の安全に十分配慮しながら遅滞なく工事を進める必要がある。		
学識経験者の意見		
○どうしても地域性があるので、地域住民とのコミュニケーションを十分に行い、事業に賛同してもらうことを重視していただきたい。		
○新山小の場合だともともとあるところに改築ということだが、今回は完全に新しいところにできて、人の流れも変わったりと、間違いなく環境の変化が起きると思う。一番堰まちづくりエリアの絡みもあり、毎年のように環境が変わっているところであるため、十分に配慮しながら工事を進めてほしい。		